

平成30年度 第2回朝倉市総合教育会議

日時：平成30年12月19日（水）14：00～15：10

場所：朝倉市役所別館第2会議室

出席者：構成員 林市長、宮崎教育長、小川教育委員、井手教育委員、
内藤教育委員、鹿毛教育委員
教育部 高良教育部長、池田教育課長、山南文化・生涯学習課長、
山見教育課主幹参事、大坪教育課参事、
中村教育課総務係長
関係課 田中保健福祉部長
高木健康課長
森部福祉事務所長
平田子ども未来課長
岩切農林商工部長、半田農業振興課長
中山人権・同和対策課長
事務局 鶴田総務部長、則松総合政策課長、柳瀬男女共同参画推
進・青少年係長、坂口
傍聴者 0名

- 1 開会
- 2 市長あいさつ
- 3 議題
 - (1) 全国学力・学習状況調査について
 - (2) 新学習指導要領への対応について
 - (3) 朝倉市教育大綱策定の概要について
- 4 その他（事務連絡）
- 5 閉会

林市長	<div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">市長あいさつ</div> <p>本日は、お忙しいところ、教育長をはじめ、教育委員会委員の皆様におかれましては、平成30年度第2回朝倉市総合教育会議</p>
-----	---

	<p>にご出席いただき、ありがとうございます。 また、皆様には平素から、本市の教育行政にご尽力いただいておりますことに、心より感謝申し上げます。</p> <p>この総合教育会議においては、教育委員会と市長である私が対等な執行機関として、意見交換・調整を行うことにより、教育の課題やあるべき姿を共有してまいります。効果的・重点的に講ずべき教育の条件整備などの施策を推進することで、将来を担う子どもたちや本市の教育行政をよりよい方向に進めていけるものと考えております。</p> <p>総合教育会議が、市の教育行政のさらなる充実・発展に寄与することを期待いたしますとともに、教育委員会の皆様には、この会議を含め、今後とも、市の教育行政のためにお力添えを賜りますようお願い申し上げます、はなはだ簡単ではございますが、開会に際しましてのあいさつとさせていただきます。</p> <p>どうぞよろしくお願いいたします。</p>
則松課長	<p>ありがとうございました。</p>
	<p>それでは、次第の3. 議題にあります順に協議を行ってまいります。これからは朝倉市総合教育会議設置要領第3条第1項によりまして、朝倉市長の林市長に、議長として進行していただきます。よろしくお願いいたします。</p>
林市長	<p>それでは、ただ今から平成30年度第2回朝倉市総合教育会議を始めたいと思います。</p>
	<p>それではさっそく議題に入ります。 次第「3 議題」にあります順に、協議を行ってまいりますので、よろしくお願いいたします。</p>
大坪参事	<p>(1)「全国学力・学習状況調査」の説明</p>
林市長	<p>「全国学力・学習状況調査について」、説明がありました。ご意見、ご質問等ありましたら、お願いします。</p>

	<p>質問・協議等 なし</p> <p>よくわかりました。ありがとうございました。</p>
林市長	<p>質問も無いようでございますので、次の議題にまいります。</p> <p>(2)「新学習指導要領への対応について」を議題といたします。</p> <p>では、教育課より説明をお願いします。</p>
大坪参事	<p>(2)「新学習指導要領への対応について」の説明</p>
林市長	<p>「新学習指導要領への対応について」、説明がありました。</p> <p>ご意見、ご質問等ありましたら、お願いします。</p>
井出委員	<p>新学習指導要領の改訂のポイントを読めば読むほど大変なことになってくると思うんです。特に私、現場に居りましたからいつも思うんですが、それに対しまして先生方の働き方改革が非常に最近言われていまして、超過勤務にならないように願ったりしていますが、先日文科省から指針案が示されました。それを読んだと月に上限を設けて45時間というような事が言われているようです。1日の超過勤務時間に直すとだいたい2時間程度になります。2時間というのだいたい7時前後に先生たちが学校からいなくなるということです。中学校あたりで朝の部活動の指導をしている先生方というのは、30分平常の朝練習をした時に6時過ぎに帰らなければならないということなんですよね。</p> <p>何か非常に矛盾しているような気がするんですよね。月80時間超過勤務していると死亡ラインに達するといわれています。でも80時間超過勤務している先生方はたくさんいらっしゃいます。これを読み返すと非常に矛盾しているし、本当に先生方の働き方改革を考えると、そこに非常に大きな課題が潜んでいるような気がします。本気で考えるならやっていけないですよ。これは教育委員会、市の課題でもあるのではないかという気がしています。</p>
林市長	<p>教育委員会はそのあたりは考えていますか。</p>
高良部長	<p>パブコメの締切は12月21日までで、学校における働き方改革に関する総合的な方策について、文科省中央教育審議会から出て</p>

	<p>いますので私も見えています。国が考えているのは変形労働時間制みたいなことを考えて、まとめて長期休業中に休みを取ると、というようなことで、これは法律改正が必要であり、来年法律改正があります。本来先生方の研修は休みのところで実施している環境にあります。では休みを多くとった場合、先生の研修はどうなるのかということで色々な課題があるなと思っております。根本的にやっぱり先生の絶対数が不足しているんじゃないかと、特にいじめの対応とか不登校対応、保護者対応、諸々考えますと定数の計画を抜本的に見直さないと時間だけ枠組みをしたとしても、かえって先生方がそれにとまなうストレスがあります。「帰れといわれても、まだ仕事はまだある」ということで体調を崩されたり、そういうことは我々も考えておりますけど、基本的には国の定数計画、法律に基づいた定数の中での配置になってきている関係がありますので、その辺が変わらないと委員が仰る様な課題、本題は想定されるかと思えます。</p>
井出委員	<p>ただ、この実数には土日祝祭日が入っていないと思うんです。</p>
内藤委員	<p>今の関連なんですけど、先生たちの変則労働時間制勤務にどうしても絡んでくるのはやはり部活動だと思います。部活動のあり方に関して、皆で考え直さなければいけない時期に来ていると考えます。</p>
林市長	<p>ありがとうございます。 これは全国的な課題で、今、働き方改革というものが、教育分野だけでなく民間も含めてたくさん課題を抱えながら、動きつつあります。</p>
宮崎教育長	<p>今、どんな風なことで少しでも改善するような取り組みはないだろうかということで話をしている部分もありますので、事務局のほうから話をしていきたい。 学校そのものは超過勤務や時間外というものがもともとないんですよ。最初から時間外が含まれるので給与が高くなっているという仕組みで、計られない部分があるのでその中でやっていますけど厳しい状況になってきたため、それをどうするのかという問題になっています。現場的に考えますと勤務時間外に取組んでい</p>

	<p>るいろんな部分が教育を効果的に擦していくのに役立っています。先生が実際休暇を取ったときに時間が減った分楽になったかというところでもない。何でもかんでも減らして他の人にお願いをすればいいということとは性格的には違う。学校が工夫している事など皆さんに知っていただくため、事務局から話をしましょう。</p>
<p>山見主幹 参事</p>	<p>課題も多いし検討しているところもありますが、今何ができるかというところややっているところでもあります。働き方改革を学校で考えるならば、子どもと寄り添う時間を確保しようということやワークバランスを考えて充実した生き方をしていこうというのが筋になっていると思います。私も教師ですが、研修と修養に努め、社会が変わってきますので外国語などが増えたりなどの対応するというのが使命だと思っています。その中で効率化をキーワードにしてどんなところを大事にやっていくかを考えています。部活動に関しては完全に月曜日は休みましようとか、土日のどちらか一日は絶対に休みましよう取り決めて回っています。学校現場におきましては教材をそれぞれの先生が作っていますが、作った教材は皆で共有して、作る時間を減らし、会議も会議録を事前に作って時間を短縮化したりだとかしています。</p>
<p>内藤委員</p>	<p>私はこの前の会議で、子育て支援センターに注目しているんです。公の行政が家庭の教育並びに状況に踏み込んでいくことを少しでもお手伝いできるようなシステムができれば、先生たちの苦勞が半減できるんじゃないかと思っています。</p>
<p>林市長</p>	<p>子育て支援センターを先月立ち上げました。市庁舎の関係でピーポートと本庁舎で分かれてやっております、一部の児童、生徒の家庭に対する対応が非常に大変である。国のほうで教育サイドだけでなく、福祉（DVや虐待に関連して）や警察も動き出しています。厳しい状況に子どもが置かれている。行政がきちんと注目しながら教育委員会や学校と連携していきたいと思っています。</p> <p>他にございませんか。</p> <p>それぞれしっかり取組んでいただいているということですので、小学校が32年度改訂、中学校は一年遅れで改訂となりますが、宜</p>

	<p>しくお願い致します。</p> <p>次の議題にまいります。</p> <p>(3)「朝倉市教育大綱策定の概要について」に移ります。</p> <p>では、総合政策課より説明をお願いします。</p>
柳瀬係長	(3)「朝倉市教育大綱策定の概要について」説明
林市長	「朝倉市教育大綱策定の概要について」、説明がありました。 ご意見、ご質問等ありましたら、お願いします。
小川委員	<p>信頼される学校づくりの項目で「コミュニティ・スクール」や「郷土に愛着と誇りを持ち」とあるが、私どもが市民としてできることで百人一首大会をやっています。もともとの発想は子どもたちに郷土に愛着と誇りを持ってほしいというところからなのですが、実際今年の大会は400名ほどの参加があったのですが、朝倉市内からは子どもたちは20名ほどの参加で本当に少ない状態です。逆に言えばまだまだ増やすやりがいがあるかもしれません。全国的な流れで言えば子ども食堂、福岡には子ども村などの例があります。今までは家庭だけで子どもは教育できたが、最近はそのでない家庭も増えてきました。地域の保護者に限らず市民もひとつになって育てていくという感覚になってやっていかねばいけないと思います。特に信頼される学校づくりのためには地域との連携を有効に活かしていただきたいと思います。</p> <p>それから文化の項目で「文化施設の整備と利用促進」とあります。私も音楽をやっておりますが、太鼓の団体や吹奏楽の団体がなかなか練習する場所がないんですね。個人の倉庫を利用したり苦勞されている。できれば公共の設備を利用して、楽器の保管もできるような施設があればもっと太鼓の数も盛んにできると思います。現在市内には市民オーケストラはありませんが、他の近隣市町村には市民オーケストラもございまして、盛んな活動をしております。練習場所や保管場所が出来、市民の文化活動がもっとできるようになればありがたいとおもいます。宜しくお願い致します。</p>
林市長	貴重なご意見ありがとうございます。

宮崎教育長	小川委員から学校教育の信頼される学校づくりの中身についてお話がありましたが、教育委員会の事務局では郷土に愛着と誇りを持つ子どもを育てるというあたりを強調して書いたらどうかと検討しています。信頼される学校づくりでは、全体の教育活動を通して広い意味で地域に対する思いを強くするというかたちで書いたらどうだろうか検討しています。今言われたように、学校の施設を地域にもっと活用していただいて、学校教育だけでなく生涯学習を含めて地域が活用できるようになれば学校施設はもっと有効に使えるのではないかと検討しているところです。
林市長	他所のまねをするのが良い、悪いを外して、そういったところに早く着目して教育委員会が学校と連携し、地域と共にやって、行政が後押しし、まさしく真の意味で開かれた学校づくりがなされている自治体もあると思っています。そういったところにしっかり議論していただいて、具体化するような計画案にさせていただきたいとおもいます。どうでしょうか。
内藤委員	コミュニティセンターの担当は総合政策課ですか。
則松課長	ふるさと課です。
内藤委員	学校の校訓がありますよね。なかなか覚えろと言われても覚えられないという。子どもたちは小学校6年間、中学校3年間それを見るわけですね。コミュニティセンターのどこか目立つところに校訓を書いてほしいです。共有してほしい。地域と子どもたちが共有できるひとつの文言じゃないかと思っています。蜷城小学校の場合、校訓というよりもJRCの奉仕、健康、親善というのが強いかもしれませんが。学校の校訓を書けたり、うちの学校の校訓はこういうのだったんだと改めてOBと共有したいと思っていますので、コミュニティの会議でできれば話してほしいと提案します。
林市長	杷木の小学校は統合されて4月からスタートしましたね。あの校訓はそれぞれのもともと4つの小学校の校訓ですか。それともベースにして出来たのですか。

宮崎教育長	<p>言葉がすぐには出てきませんが、杷木小学校は校訓を作るにあたり今おっしゃられたようにそれぞれの小学校の校訓を参考にし、ダブったところもごさいます。似ているものもごさいます。それから象徴的に作りたいということで、松末のM、杷木のH、久喜宮のK、志波のS、この頭文字を入れるような言葉を整理して作っています。校訓で言いますと3つが多いんですが、そういう関係で4つにしていますと学校から報告を受けています。</p> <p>今、内藤委員が仰られたように学校には学校教育目標というものがございまして、それを学校訓とどういう風にするのかとなかなか悩ましいことがございました。学校に石碑に彫ってあったりする学校訓というものがありますが、これはそれぞれの村に学校を作る時の「こういう子どもを育てたい」という地域の願いをこめた言葉になっています。これは校長が変わったとしても地域としてはこれをずっと守り続けていく言葉にしようと、それを受けた校長がその時代時代の教育の要請においた目標を決めていこうと整理していますので、今仰られたような学校にあります学校訓は校区、地域全体の「こういう子どもを育てたい」というコミュニティにふさわしいと私も考えています。</p>
林市長	<p>他にございませんか。</p> <p>他にないようでございまして、「朝倉市教育大綱策定の概要について」協議を終わらせていただきたいと思います。これで予定しておりました3つの議題を終了します。</p> <p>せっかくの会議ではございまして、委員さんからその他何かご意見等はありませんか。</p>
内藤委員	<p>南青山の児相施設の問題、南青山に児童相談所を持つてくことに地元が反対していると、猛烈に反対していると、僕も気持ちも分りますけど、朝倉市にできたとして、皆さんどう思われるのか率直にざっくばらんに話してほしい。お聞きしたいです。</p>
池田課長	<p>個人の意見でということで、児童相談所は今は久留米にありますけど近くにあればとても助かるというのが今の私の職場での感じでございます。相談したいこともたくさんございます。児童相談所は人間が少ないと言われていきますので、なかなか手が回らな</p>

	いところもあるかと思いますがけれども、それが近くにあれば住民にとっては頼りがいがある施設であると思います。
林市長	報道の東京の地域では、児童相談所を入れると街のイメージが悪くなると猛烈な反対が出ているようですが、現場でいろんな課題にあたっている人たちにとっては身近であった方が良いということですね。
平田課長	今、教育課長が申されましたけれども子ども未来課としましても虐待防止を含めて日頃から児童相談所とは連携をしております。今週もある方を施設に措置して児童相談所と連携してやるようにしておりますけれども、そういったことが身近で出来る、距離が近ければそれだけ早く相談も出来るという意味では近くにあった方が助かる施設だと考えております。
林市長	内藤委員はどのようにお考えですか。
内藤委員	閉校した学校に児童相談所を誘致してはどうかと極論ですけどね、地元が反対するかもしれませんが。児相は福岡市と久留米にと、遠いですよね。児相にお世話になる機会が増えてくるのであれば朝倉市が手を挙げてその地域の取り扱わなきやいけないんですけど。
林市長	東京の人はどんななのでしょうかね。
小川委員	東京だから起きる問題なんでしょうかね。その南青山とか高級住宅街。田舎だったらそういう問題起きないと思います。利害関係があると自分の利益にならないことは反対しますよね。難しいですね。他のところではそんな問題はないですよ。今は幼稚園でも保育園でも反対する人がいますから。
田中部長	都会ではイメージが悪くなるとか地価が下がるとか批判が多いですけども朝倉市にもしそういう話があれば、先ほど課長も申しましたように私としては地域と共に子どもの育成とか虐待とかも一緒に考えていかなければならないことなので、うちに来るということになれば地元がどうかと思います担当としては

	<p>喜ばしいことだと思っております。</p>
小川委員	<p>最近、福岡の子ども村に見学に行かせていただいたんですけど、そこも最初は地元の人たちの反対があったらしいんですけど、説明会を繰り返して理解を得ながら出来ました。出来た後は逆に地元の人にも安心されたというか知らない時は不安に思うこともあります。出来た後は誤解が解けて今は良かったということなんですけどね。理解を得るまでが難しいですね。</p>
林市長	<p>私も身近なところでそれに近い経験は何度かありまして、思い込みとか歴史的に迷惑施設だったり心配な人たちが生活する施設であったり、立地するときが非常に厳しい。しかし、きちんと本来の役割を果たしていけば、誤解は解けていくし、かえって助かるという話もあります。</p> <p>全体を通して何かございませんか。</p>
鹿毛委員	<p>笑顔があふれる子どもがたくさんいることが望ましいと思います。先生は研修会があって学ぶ場がありますが、保護者は学ぶ場が少ないのかなと感じています。例えば、新入生説明会などでお父さんやお母さんたちがどうしていけばいいのかなと見通しを持っていけるように、教えてくださる講座みたいなのを一緒に組み込んでもらったなら子どもと親がより深くつながっていけるんじゃないかと思っています。親の学ぶ場というものがあれば傷つく子どもたちも少なくなるのではないかと思います。</p>
林市長	<p>入学するときにオリエンテーションみたいなものがあるんですね。</p>
井手委員	<p>入学する前に説明会がありますね。そのときに保護者の役に立つ講座を入れてもらうと良いのではないかという意見だと思うんですが、別個に持ってくるのではなく何かの機会にそういった学ぶ場を設定してもらうと有難いということなんだと思うんですが、私もそう思います。</p>
林市長	<p>子育て支援センターが今のお話にあてはまるとは思いますが、どうなんでしょうね。</p>

井手委員	もう実際に取り組みをされている地域もあるみたいですね。
宮崎教育長	<p>ちょっといいですか。鹿毛委員の意見の中で一番最初の説明会の時ということばが残っているんですよ。子どもさんを育てる上でどういう風なことをしたら良いのか、子どもさんが発達上、問題行動に走りやすい傾向がある年代があるなどということについて親としてPTAとしてどうしたらよいかということは生涯学習の講座に入れています。またPTAも単独で取組んでいます。ところが聞いてほしいと思うご家庭はそのような説明会に忙しくて出られない。聞いてほしいが聞いてもらえない状況があるので、入学説明会のときであれば聞いてもらえるんじゃないかと言って頂いたと私は感じました。実際その日にやろうとするとどんな課題があるのか、学校の都合でそこまで盛り込めるか否か問題があります。それが出来れば学校も子どもさんも、保護者も助かるのではないかと思います。具体的な方法を検討しなければならぬと思います。</p>
大坪参事	<p>小学校に関しては事務手続きが多いですよ。その説明だけで終わっています。実際に親として子どもとどう接してください、PTAとしてこういう役割でやっていってくださいというのは、子どもたちが学校見学をしている間に担任の先生が説明しているというのが現状です。事前に説明できれば学校としてもスムーズにいけるのではないかと思いますので検討させていただきたいと思います。同様に中学校についても入学前に、保護者と子ども向けに一緒に説明会を行っています。なので小・中合わせて新しいことが出来ないか考えます。以上です。</p>
林市長	私の役割は以上のようなので、事務局にお返しします。
事務局	<p>ありがとうございました。 次第の(4)その他に進みます。事務局からは特にございませんが、他からもよろしいでしょうか？はい、ありがとうございます。では、これをもちまして、平成30年度第2回朝倉市総合教育会議を閉会させていただきます。本日は誠にありがとうございました。</p>

